

『トメキレ』

トメ箇所の下地塗りやパテ補修不足・経年劣化によりトメ組みが割れて発生。

「割れ等を補修する修理方法」



①割れ部分を瞬間接着で埋めてアルテコスプレーで固める。

(傷の広さ・深さによってはポリヤパテを使用)

②瞬間接着の余分な部分をヤスリで
研磨し、ペーパーで平面に整える。

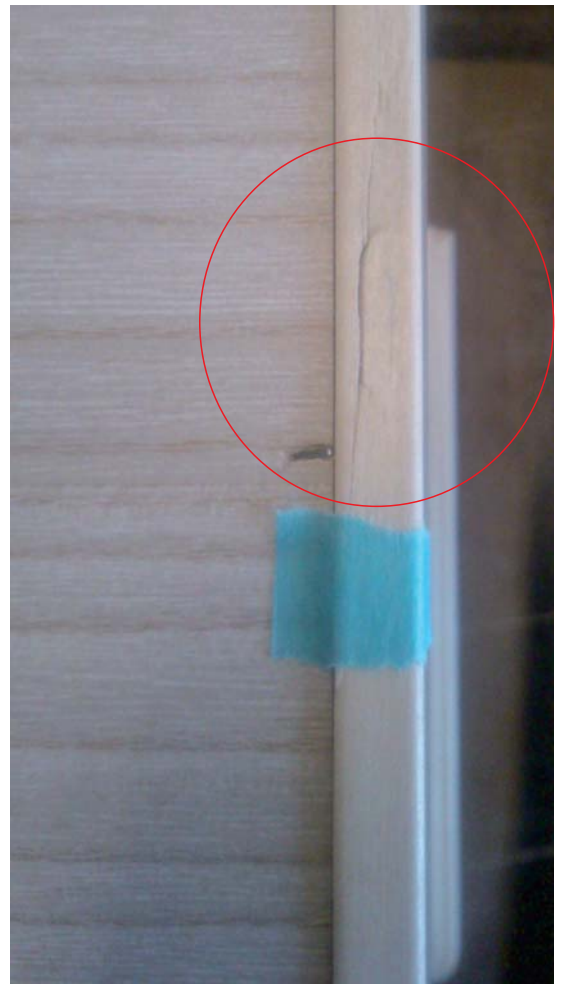
※その後は傷・凹み修理の時と同様に
着色→サンディングスプレー→仕上げ
フラットを吹き付けて完了。



『パテでの補修』

凹みや傷等を埋める際に瞬間接着やポリ以外にクリアーパテや木工パテで埋める場合もある。

※修理は手軽だが、時間と共に落ち窪みや、塗装すると浮き上がることがあるので目立たない場所の傷に使用する。



①傷にパテを埋める。

②1時間以上乾燥させた後に、ヤスリで平面に研磨する。



③ #800ペーパーで修理箇所と周りを研磨する。

④テープや新聞紙等でマスキングをする。



⑤エアーで埃を取り除き、サンディングシーラーを吹き付ける。乾燥した後に仕上げフラットを吹き付け、1日程度乾燥させて完了。

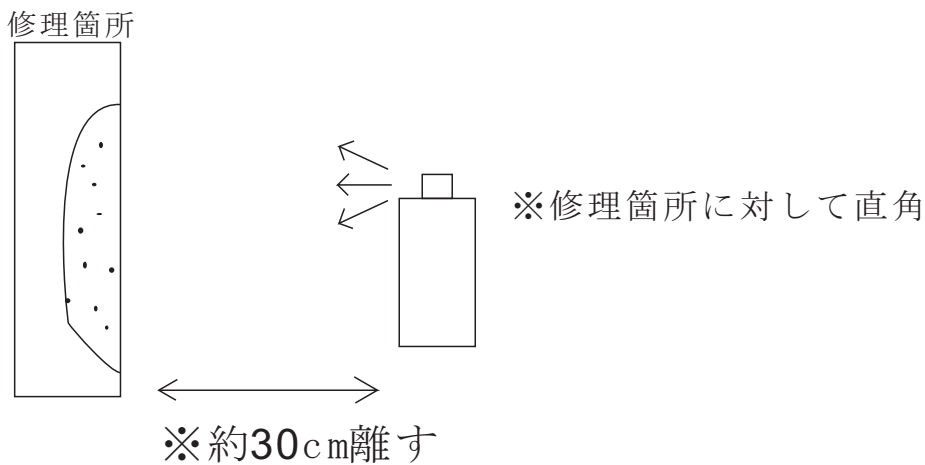
<スプレー使用時の注意事項>

※スプレー仕上げで重要なのは角度と距離

角度：修理部分に対して直角が望ましい。

距離：修理部分から約30cm程度離して吹き付ける。

<参考図>



<注意点>

※着色する際は周りの色と調和させるために、修理箇所の周りにも着色させる。

※サンディングシーラーや仕上げフラットはムラにならないように吹き付ける。

※新聞紙等で色やスプレーの噴出し具合を試してから吹き付ける。

※角面等の極小部分は筆を使用して着色させる。

< 傷や凹みの埋め方と道具 >

※傷の大きさや場所によって埋め方を工夫する必要がある。

瞬間接着剤（アロンアルファ）

- ・乾燥促進剤を使用し乾燥が1分と早い。
- ・接着剤が硬いため研磨に時間が掛かる。
- ・研磨しやすい場所や範囲が狭い傷に向いている。

ポリパテ

- ・二液を混ぜて使用し乾燥に1時間以上が必要。
- ・柔らかいため研磨しやすい。
- ・研磨しにくい場所や傷が広い場合、形を形成する場合などに向いている。

クリアーパテ・木工パテ

- ・乾燥するのに1時間以上必要。
- ・柔らかいため研磨しやすい。
- ・時間が経過すると落ち窪んでしまうこともあるので目立たない傷の修復に向いている。

< 補足 >

※埋めた後の工程（ヤスリ・ペーパー→細かいペーパー→着色→サンディングシーラー→仕上げフラット）は基本的には共通している。

※現状の修理では大半は瞬間接着剤で修理を行っている。